

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録
【学校評価部会・キャリア部会・地域連携部会】

1 日 時 令和7年 11月27日（木曜日）15時45分～17時00分

2 会 場 県立横浜清陵高等学校 会議室（大、小）

3 出席者 学校運営協議会委員 5名（3名欠席）
県立横浜清陵高等学校教職員 10名

4 協議内容

（1）学校評価部会（全体会）

1. 今年度の取組について（校長）

・6月以降の行事について

体育祭は盛大に行われた。良き学びの場になっている。

修学旅行は生徒主体で決めたものを取り入れた。生徒たちに内容を考えさせ、共有できた。

・球技大会2日目にPTAによる豚汁が提供された。PTAとのよい交流の場となっている。

・SCと連携し、課題を抱える生徒への手厚い支援を行っている。

・進路に向けて年明けも指導を継続する。

2. 各グループ業務内容の中間報告（事務局）

○学習支援グループより

・公開研究授業を開催できたが、定期試験後すぐの開催であったので授業準備が時間的に厳しい状況であった。スケジュールの改善が必要である。

・授業評価については授業改善を今後していきたい。後期授業評価の結果を見てフィードバックしたい。

○生徒支援グループより

・生徒の身だしなみが以前より良くなった。今後も服装指導を継続していく。

・遅刻する生徒が増えている。

・支援が必要な生徒が増えているのでサポートドックなどで支援していく。

- ・ いじめ重大事案について県立学校では前年度の4倍に増えている。いじめ事案が変わってきている。いじめの定義の変化に伴う生徒の言動、SNSの使用を注意させるなど職員に周知する。

○活動支援グループより

- ・ 実行委員、生徒会本部等の生徒にアンケートを実施し、活動を通して主体性や協調性が向上した生徒が増えた。今後もそのような生徒を育成していく。
- ・ 部長会において3年次の取組を引き継ぎつつ、2年次は自分たちが行いたい取組も主体的にできるように指導していく。
- ・ 地域等校外活動については部活動が地域と交流し、地域の祭りにも参加した。

○キャリアガイダンスグループより

- ・ インターンシップとボランティア参加が増えた。

○企画広報グループより

- ・ 清陵ナビで月2回発信は達成できた。
- ・ CMSの配信ができる職員を2名以上に増やすことができた。
- ・ 生徒会のインスタグラムを使用して学校のHPとの連携を深めたい。

○管理運営グループ

- ・ 環境の整備を進める。
- ・ 研修の精度も向上している。
- ・ 廃棄物などの処理を含めた清掃を年度末に向けて行う。
- ・ 不祥事防止についての研修も実施した。
- ・ 働き方改革を推進している。
- ・ オフィス改善を実施した。

【委員からの意見および質問】

- ・ 授業評価の結果についてのシートを見やすく改善してほしい。（委員）
→学校独自の書式なので改善できる。（事務局）
- ・ インターンシップ、ボランティア活動が増えているのは大変良い。（委員）
→生徒は自分の進路や学びの場を広げている。（事務局）
- ・ 不登校の生徒の増加が懸念される。どんなふうに対処していくのか。（委員）
→不登校に対する認知が進んでいるものもあるが、コロナ禍を経てコミュニケーション不足が一因でもあるのではと思う。職員研修も必要である。（事務局）
→SNS関係のトラブルが増えているという保護者からの意見がある。コロナ禍において生徒が他者とのコミュニケーションを十分に行えなかったことが要因の1つではないか。（委員）
- ・ 本校でも生徒間トラブルは増えてきているのか。（委員）

→本校については増加したという実感はない。（事務局）

- ・学校職員のいじめに対する認識をアップデートする必要がある。細かく丁寧に対応する必要がある。小・中学校でも対応に苦慮している現状があると思われる（事務局）

- ・定期テスト返却後の生徒による正誤の確認時間を十分取るなどして事故を防ぎ、注意すべき事案については組織内で速やかに共有することが大切である。

- ・5の学校管理・学校運営の④働き方改革の推進の項目について総合型で受験する生徒が増え、教員への負担が大きいのに時間外勤務が減っているのは不自然に感じる。文章表記だけでなく数値で表記しないと実態がわからない。（委員）

→勤退のシステムで時間外勤務の時間を計っている。（事務局）

- ・出勤や退勤時間が押されるタイムカードはあるのか。（委員）

→タイムカードはないが、パソコンのオン・オフによる勤務時間管理システムはある。

（事務局）

- ・10/26（日）清水ヶ丘ケアプラザフェスタへのダンス部参加は良かった。今後もどんどん参加してほしい。（委員）

→今年も参加させていただいたが、写真部はお祭りの様子を撮影し展示した。今後もケアプラザ等地域と連携することを増やしていきたい。（校長）

- ・学校周辺の環境整備について木々の伐採で周りが明るくなって感謝している。（委員）

- ・文化祭については入場に時間がかかりすぎて目当ての演目が見られなかったというクレームをいただいた。セキュリティ一面が向上したのは良いが、来年はもっと柔軟にしてほしい。在校生保護者にまで顔写真提示を求めるのはかなり不満が出た。一般の来場者にはインターネット予約を求めつつも、在校生保護者についてはもう少し緩和してほしい。受付の人員が足りないと聞いたが、PTAにも手伝ってもらうのも良いと思う。（委員）

→以前から起こっている問題防止のためにセキュリティを強化した。入場者増加に伴い不審者を排除するなどして、入場者が安全安心に動けるようにということで取った対策である。PTAの方の協力を得ながら今後進めていきたい。今年度の入場に関しては今年の2月から生徒、職員、管理職と協議し決めてきた。校内で不審者を目撃したり追跡することもなかったので効果はあったと考えている。受付は来年度人員を増やす予定であり、次年度保護者への対応はすでに検討を始めている。受付では入場許可証の表示できなかったり、パスワードを忘れて開けなかったりする来校者が多かった。この点については、手順書の配信や入場窓口を分ける等の対応をしたい。

（事務局）

(2) キャリア教育について

○具体的な取組状況や成果と課題、あり方や今後の展望等

- ・学校推薦型（指定校）選抜での受験者数は昨年度と同じである。つまり、今年度の3年次生は8クラスの割合は昨年度より下がっていることになる。現在全体の3分の2は進路決定しており、残りの3分の1はまだ進路未決定者である。年内で進路を決めたいと考える生徒が多いので進路決定者においては模試を欠席するものが多く、生徒の意欲を高めることが難しい状況がある。模試のあり方や進路に関する行事の精選をする必要がある（事務局）

- ・総合型選抜で受験する生徒への対応が増加しているが、今後もこの傾向が続くと考えられる

（委員）

- ・総合型選抜で受験を希望した生徒が120名程いて、教員1人につき2，3名の生徒を指導している。日々の授業準備や教科指導に加え、面接対策等の受験指導が増加するので教員への負担が大きい。働き方改革の観点からもやり方を変えないといけない。（事務局）

- ・進路決定者への生活指導が課題である。何らかの対策が必要である。（委員）

(3) 地域連携について

○具体的な取組状況や成果と課題、あり方や今後の展望等

- ・地域清掃を11/13に実施した。清陵祭での食品販売で地域の商店と交流したご縁でお祭りに生徒が参加した。ケアプラザフェスティバルに参加できた。（事務局）

- ・地域交流については吹奏楽部、ダンス部などいくつかの部活動が参加している状態である。部活動に参加していない生徒にも校外での活動を促したい。（事務局）

- ・ボランティア活動をする生徒は増えているのか（委員）

→夏休み募集への参加は増えた。今後も増やしていきたい。職業体験を踏まえている。（事務局）

(4) 委員長からの挨拶

(5) 校長からの挨拶

- ・生徒の様々な諸活動に教育的な意味づけをすることが大切であるとする。

- ・今後の予定を確認した後に終了